

研究課題名	顎口腔領域への転移性腫瘍の多施設共同後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	近年における転移性腫瘍の疫学的調査を行い、予後等を明らかにすることは超高齢化社会におけるがん治療の治療方針の検討などにおいて有益であると考えられます。 診療録を用いて遡及的に背景因子、予後を抽出し、そのデータをもとに全生存率（期間）を検討します。本研究は富山大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	【研究期間】 実施許可日 ～ 2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	【研究対象者】 2008年1月1日～2022年3月31日までの期間に本研究参加施設を受診した顎口腔領域への転移性腫瘍患者さん
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【対象期間の口腔癌一次症例数、性別、初診時年齢、原発部位、病理組織学的診断（原発巣）、顎口腔領域の転移部位、顎口腔領域以外の転移部位、臨床症状、Numb chin syndromeの有無、治療法（原発巣・転移巣、分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬の使用）、顎口腔領域への転移確認までの期間、転帰（原発巣、転移巣の制御）初診日、最終確認日 これらの情報は、研究代表機関に送付されます。】
試料・情報の他機関への提供	この研究は 富山大学附属病院歯科口腔外科へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院歯科口腔外科以下、下記の機関でも行っています。 長崎大学/梅田正博、神戸大学/長谷川巧実、信州大学/近藤英司、広島大学/小泉浩一、済生会松坂総合病院/大倉正也、奈良県立医科大学/桐田忠昭、東海大学/太田嘉英、福井大学/吉村仁志、新潟大学/富原 圭、関東労災病院/堀江彰久、静岡市立静岡病院/大山巖雄、日本歯科大学/猪俣 徹、名古屋市立大学/石橋謙一郎、北海道がんセンター/秦 浩信、北海道がんセンター/林 信、徳島大学/鎌田久美子、北海道大学/大廣洋一、愛媛大学/合田啓之、慶応義塾大学/筋生田整治、鹿児島市立病院/新田哲也、長野市民病院/西村允宏、長野赤十字病院/傳田祐也、伊那中央病院/梶原 稜、兵庫医科大学/野口一馬、山口大学/三島克章、和歌山県立医科大学/松村達志
試料・情報を管理する責任者	富山大学附属病院歯科口腔外科 准教授：山田慎一
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	本研究に協力したくないのと申し出があった場合はその患者さんの研究データは研究に使用せず、富山大学への情報提供も行いません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 歯科口腔外科 中原 寛和 電話番号：(06) 6645-7810 メールアドレス：h-nakahara@omu.ac.jp